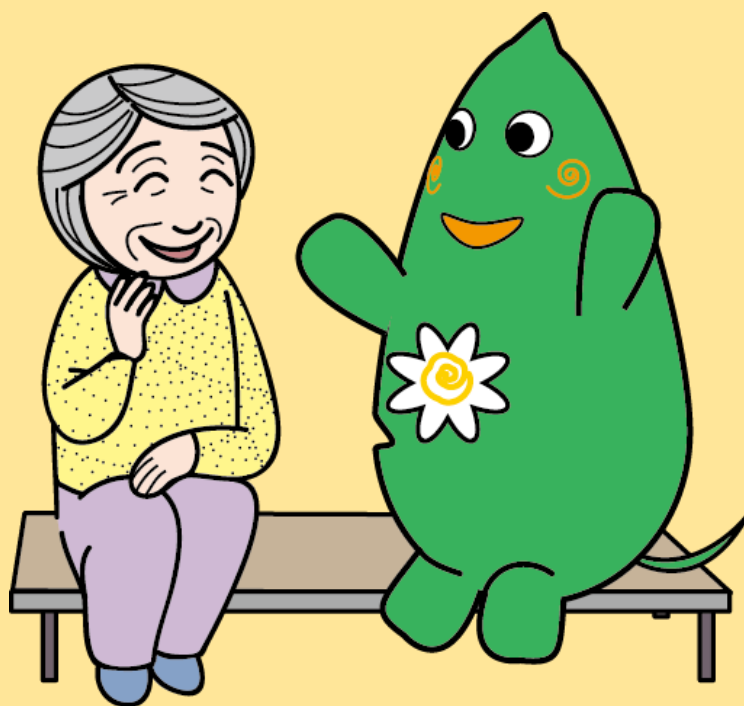


令和6年度 おひとりさまアンケート 結果報告書



大和市イベントキャラクター ヤマトン

大和市 あんしん福祉部
人生100年推進課

令和6年度 おひとりさまアンケート 調査結果について

1. 目的と概要

このアンケートは、おひとりさま（高齢の一人暮らしの方）の終活や社会参加等に関する意識や取組みを調査することで、今後、市のおひとりさま施策を進めるうえでの基礎資料を得ることを目的としています。

2. 対象者

➤ 対象者の決定方法

このアンケートの対象者は、「令和6年度 大和市介護予防アンケート」において、「ひとり暮らし世帯」「あなたに気を配ったり、思いやりしてくれる家族が近くにいない」と回答された方の中から、無作為抽出によって選ばせていただきました。

➤ 調査票送付数 644人

3. 調査方法

➤ 方法 対象者へ調査票を郵送にて送付し、郵便での返送による回収

➤ 日程 令和7年2月20日（木）から同年3月19日（水）

➤ 全20問

4. アンケート回収結果

➤ 回答数 435（一部未回答を含む）

➤ 回答率 67.5%

5. 集計に関する留意事項

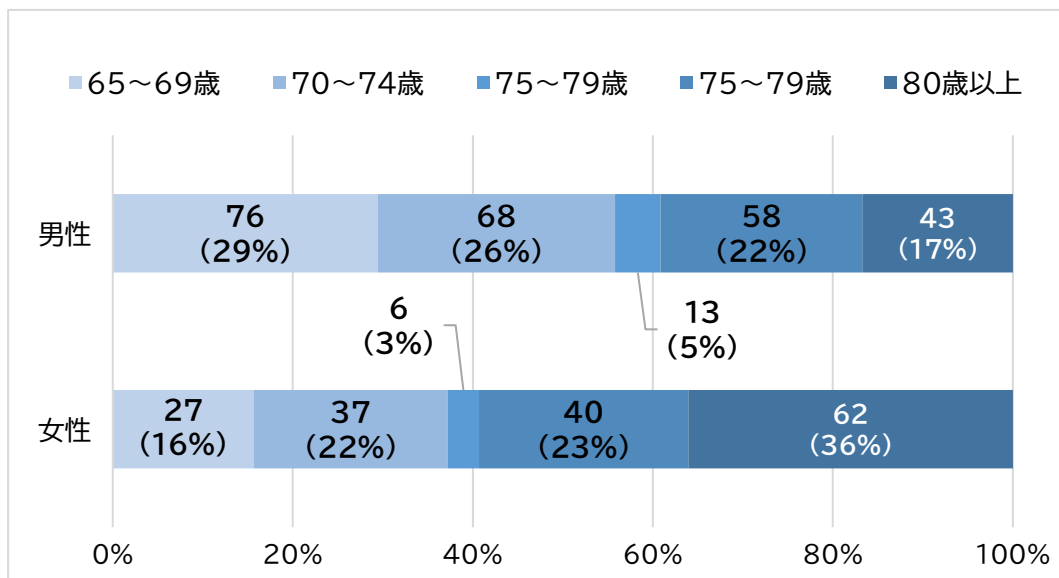
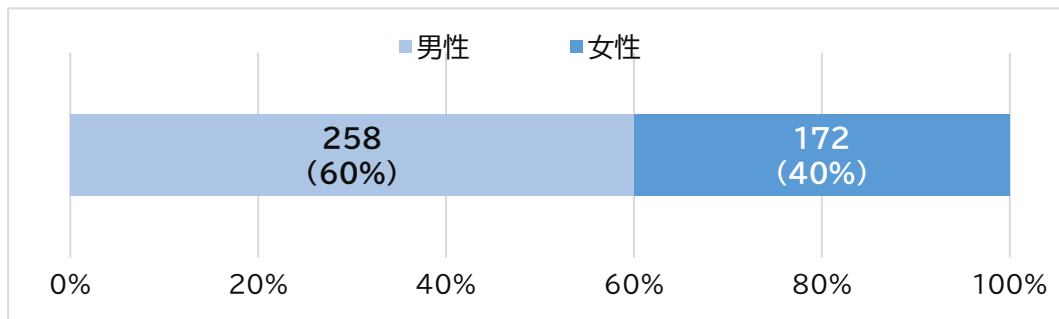
➤ 条件分岐（例：問1で「いいえ」と答えた人のみ回答、など）の誤りや、単一回答の設問に複数回答した回答は集計から除外しています。

➤ グラフの「%」は、四捨五入を原則としているため、合計が100%にならないことがあります。

調査結果

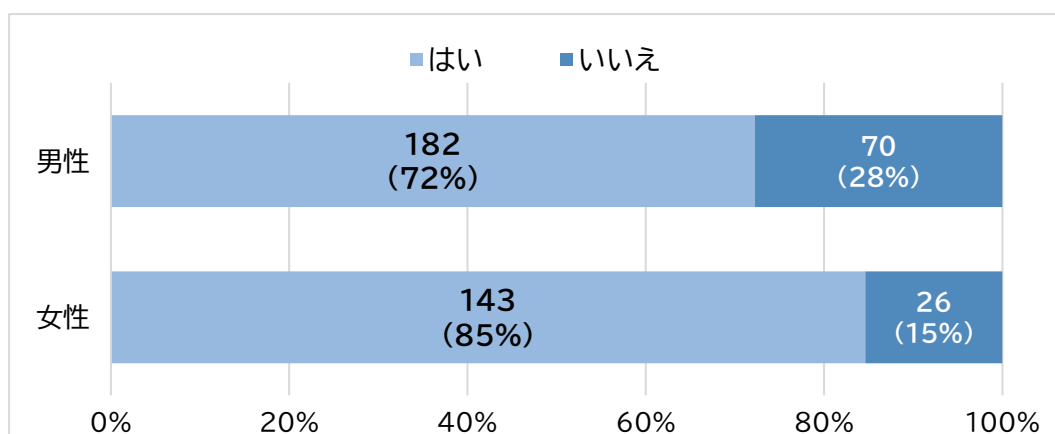
1. あなたの性別を選択してください。
2. あなたの年齢に該当するものを選択してください。

	男性	女性	合計
65～69歳	76	27	103
70～74歳	68	37	105
75～79歳	13	6	19
75～79歳	58	40	98
80歳以上	43	62	105
合計	258	172	430



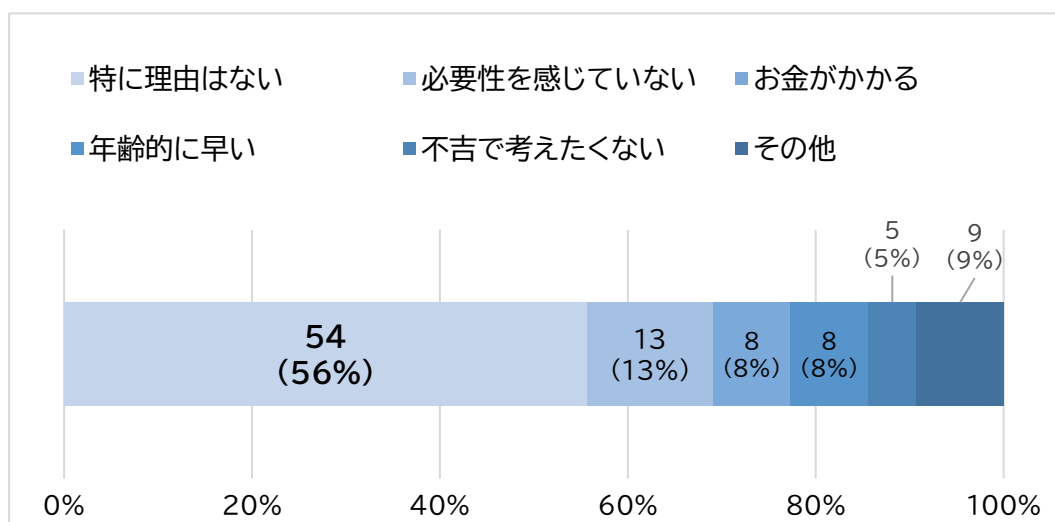
男女別の年齢の内訳は上記の表のとおりです。

3. 終活について、あなた自身は関心がありますか。



「はい」と回答した人の割合は、男性で72%、女性は85%となっており、男女ともに終活への関心が高いことがわかります。

4. 【3で「いいえ」と答えた人】終活に関心がない主な理由を1つ選択してください。

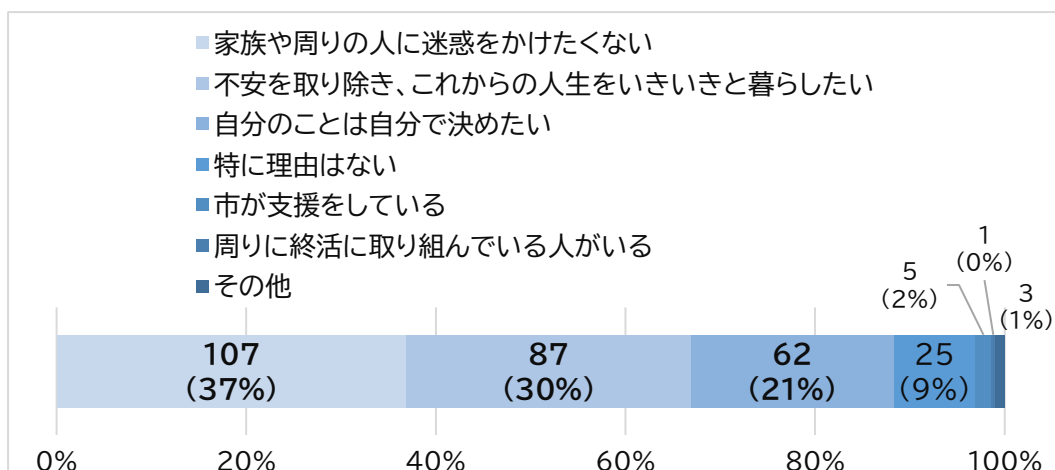


終活に関心がない主な理由として最も多かった回答は、特に理由はない、でした。次に多かったのは、必要性を感じていないという回答です。不吉で考えたくないという回答が多いと想定していましたが、実際は異なる結果になりました。

【その他と回答した人の自由記述(抜粋)】

- ・ 自分なりに考えているが、くわしく細かく考えて、それにとらわれたくないから
- ・ 現在それなりに対策している
- ・ 一人の生活
- ・ 自の考える通りにはいかないと思う
- ・ 子供達とうまくやっているのでその心配はないと思います
- ・ 関心がない

6. 【3で「はい」と答えた人】終活に関心がある主な理由を1つ選択してください。

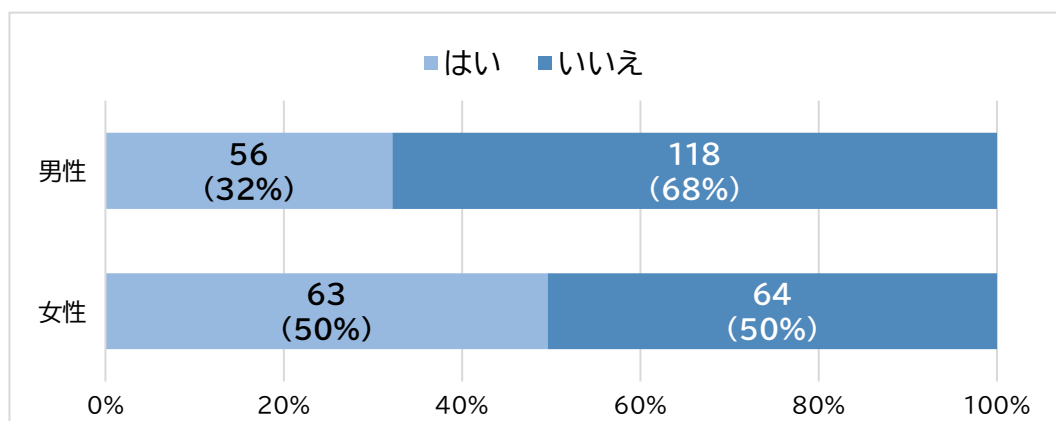


迷惑をかけたくない、という回答が一番多い一方で、これからの人生をいきいきと暮らしたい、自分のことは自分で決めたい、という回答も一定の割合を占めており、終活を前向きに捉えている人が多いことがうかがえます。単純な比較はできませんが、民間団体による終活のアンケート調査結果をみると、家族や周りの人に迷惑をかけたくないという回答が2位以下に大差をつけて 1 位になる傾向があります。

【その他と回答した人の主な自由記述(抜粋)】

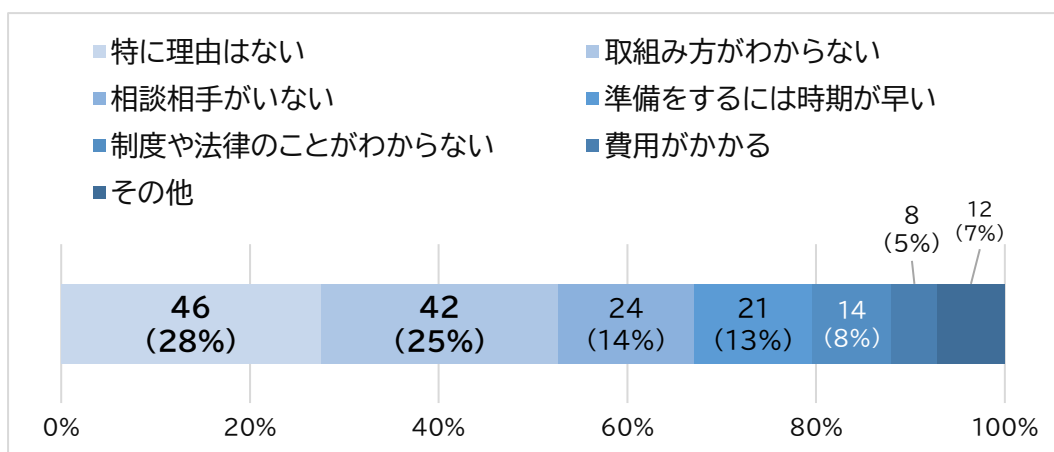
- ・ その後の事を案じて
- ・ 子供がいなく、一人暮らしのため
- ・ 天涯孤独のため身元引受人がいらない
- ・ モノその他の整理をしたい
- ・ 独り暮らしだから
- ・ 自分の人生整理をする
- ・ 両親が他界し、一人っ子のため、いろいろと決めておきたい事等がある

6. 【3で「はい」と答えた人】あなたは実際に終活の取組みを始めていますか。



実際に終活に取り組んでいる人は全体で約40%です。過去に市のイベントなどで実施したアンケート結果では、30%前後の回答が多かったのも、それよりもやや高い割合を示しています。

7. 【6で「いいえ」と答えた人】その主な理由を1つ選択してください。



終活に取り組めていない理由で多かった回答は、特に理由はない、取組み方がわからない、でした。取組み方がわからない、という回答は、他の民間のアンケートでも上位になる傾向があります。

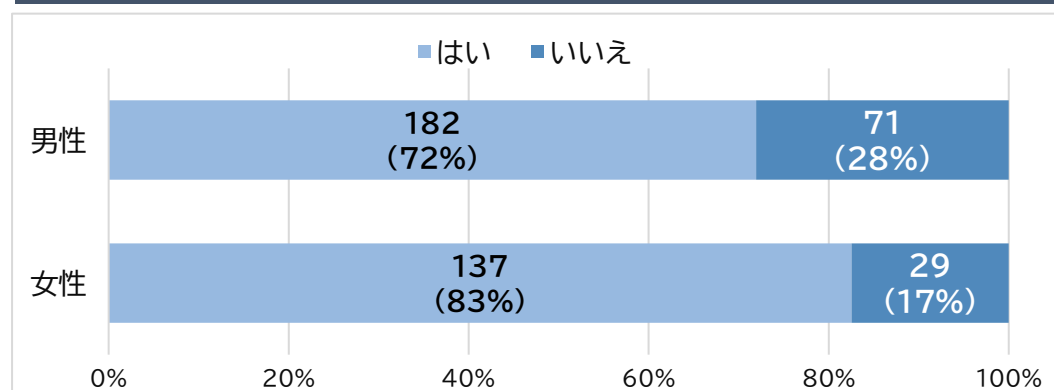
※ 市の終活相談窓口

本市では、窓口で市職員が終活相談をお受けしています。終活の始め方や具体的な取組み方法もご案内していますので、お気軽にご相談ください。【要予約】電話046-260-5622

【その他と回答した人の自由記述(抜粋)】

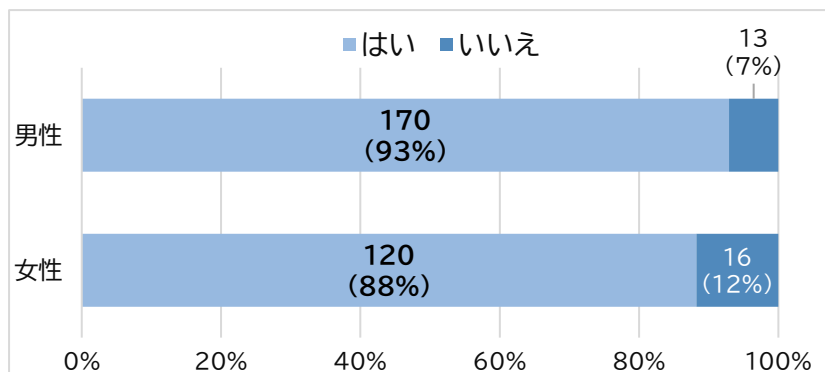
- ・物を捨てることから始めたいが、多すぎて、困っている
- ・体調を整えてから
- ・目前に入院が……
- ・まだ先と考えたいから
- ・実母介護中なので、ズルズルと先延ばしにしている
- ・施設に入居の予定でいるが、昨今、その施設にも難があり迷いがある
- ・市に相談しようと思っている
- ・子供がやってくれるとおもっている

8. 事故や急病など万が一の事態の備え、あなたに緊急連絡先となる人はいますか。



緊急連絡先になる人は、全体で見ると70%以上の人がいるようです。

9. 【8で「はい」と答えた人】あなたに万が一のことが起きた際、病院や消防、警察などに、市があなたの緊急連絡先を伝える制度があれば、利用したいですか。

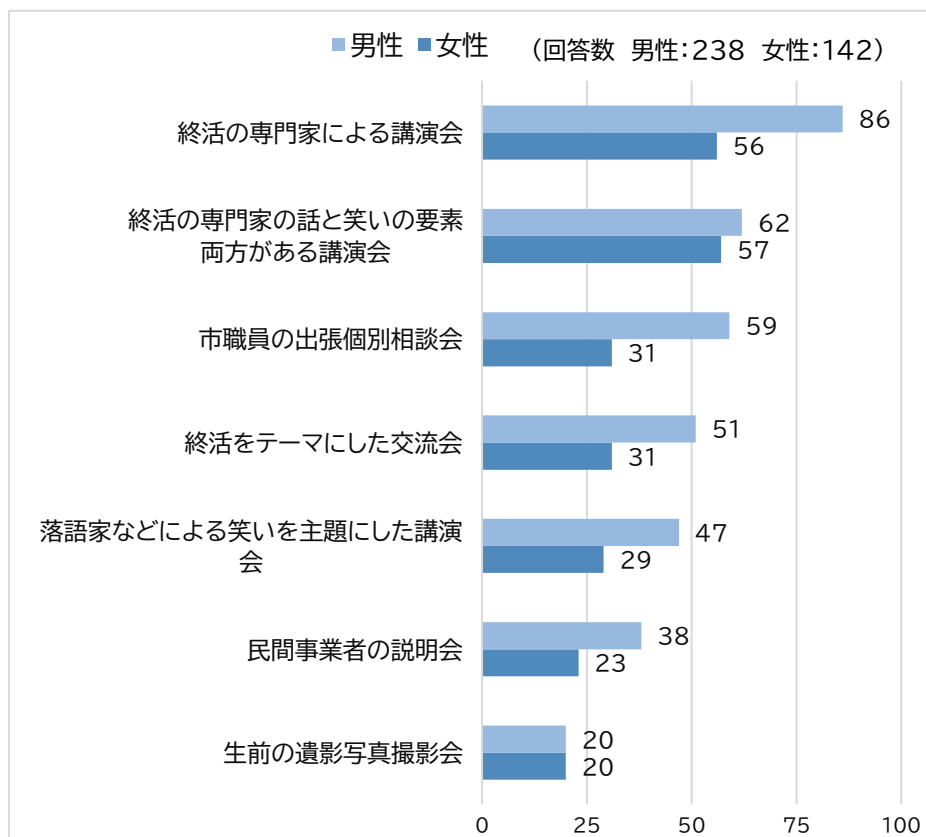


制度を利用したいと考えている人は男女ともに約90%にのぼり、高い需要があることがわかります。

※ 市の終活登録事業「ツナグ」

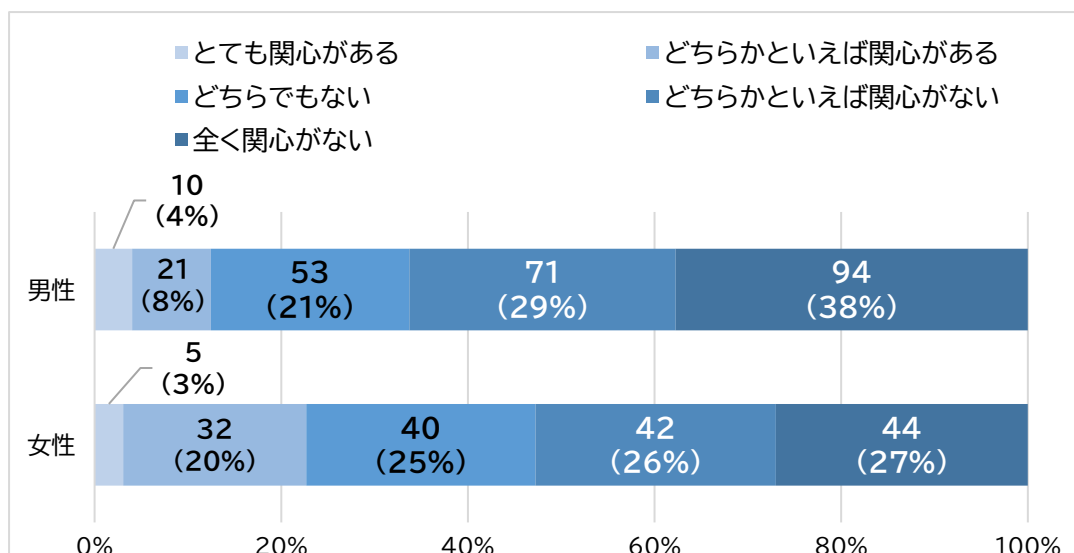
登録者が病気や事故で意思表示できなくなった際に、病院などからの照会に対し、市が緊急連絡先などの登録情報を回答します。対象は市内在住の65歳以上の一人暮らし、または二人暮らしの方です。登録についてはまず一度ご相談ください(電話046-260-5622)。

10. 市主催の終活イベントで参加したいと思うものを最大3つまで選択してください。



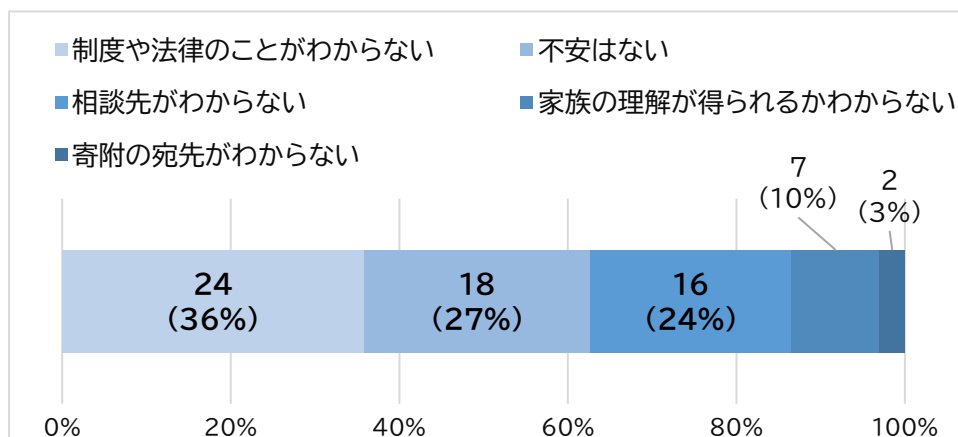
最も要望が多かったイベントは、終活の専門家による講演会、次点で専門家と笑いの要素の両方がある講演会でした。市職員の個別相談会を要望する声も多かったです。

11. 遺贈寄附について、あなたは関心がありますか。1つ選択してください。



終活それ自体に比べると、遺贈寄附への関心はあまり高くありませんでした。他の民間のアンケート調査でも、関心層は20%前後という結果がでているので、概ね似たような傾向がみてとれます。

12. 【11で「とても関心がある」、「どちらかといえば関心がある」と答えた人】遺贈寄附を考えるうえでの不安を1つ選択してください。

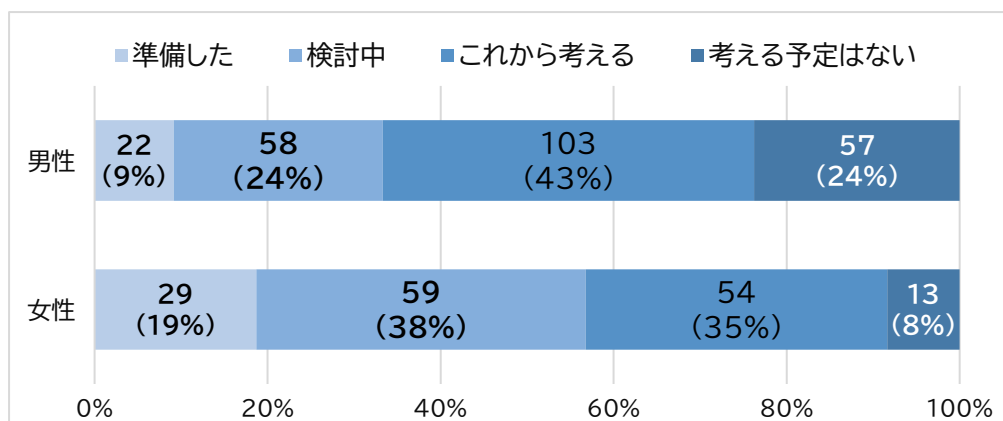


不安としてあげられていたのは、制度や法律がわからない、相談先がわからない、というものでした。前者は、遺贈寄附のためには遺言書を作成する必要があり、専門的知識が求められるからだと思われま。後者は、遺贈寄附を専門で扱う民間会社が少ないことも背景にあると推測されます。

※ 遺贈寄附のご相談と専門家の紹介

市では、終活相談の一環として遺贈寄附の相談も受付けています。またご希望に応じて、司法書士の先生をご紹介することもできます。お気軽にご相談ください。【要予約】電話046-260-5622

13. ご自身の住まいについて、あなたが亡くなった後のこと（持ち家の相続、賃貸住宅の退去など）を考えたり準備したりしていますか。1つ選択してください。

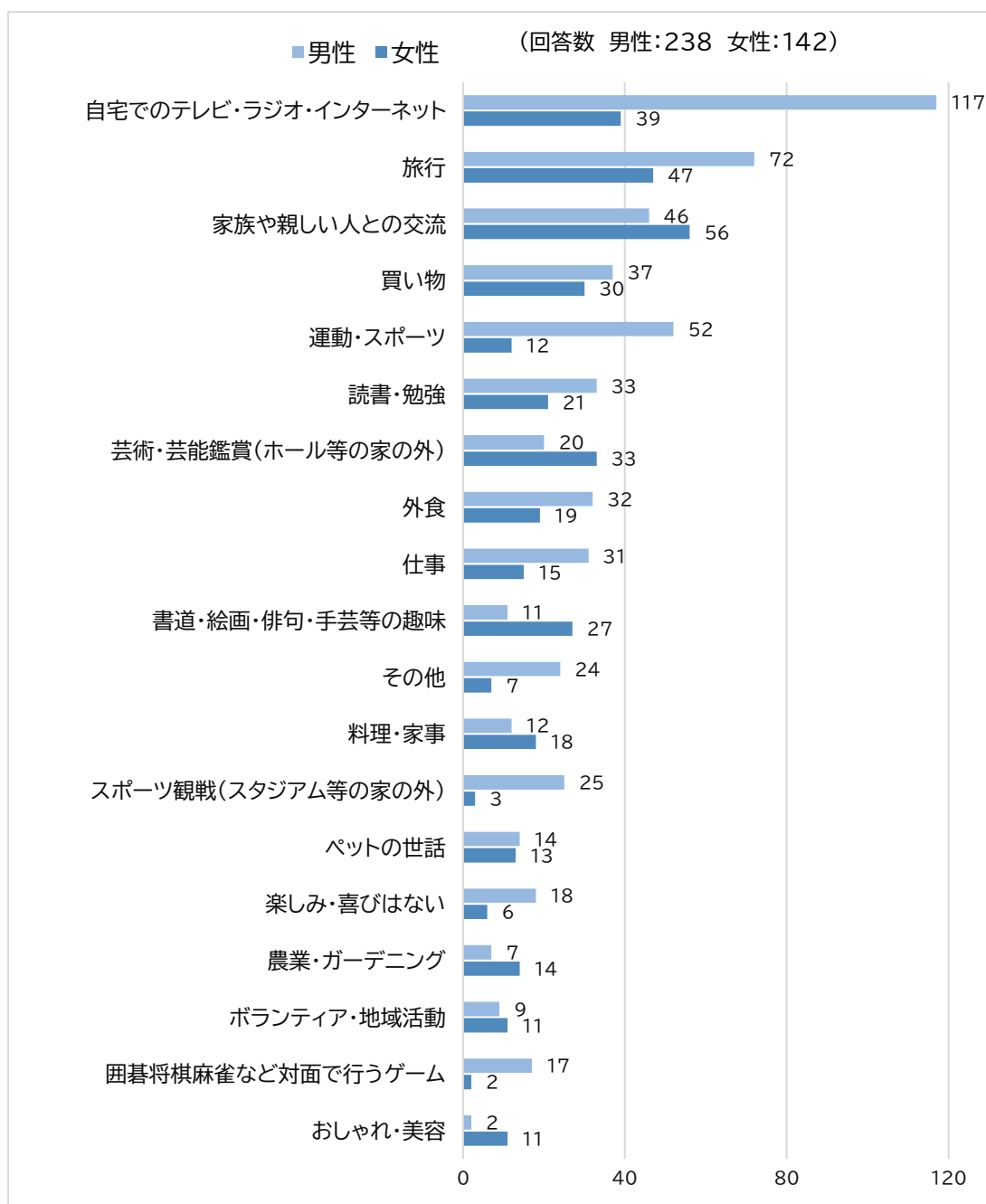


住まいの終活に既に取り組んでいる人の割合は、女性のほうが高かったです。考える予定がない人は男性で20%を超えています。



イラスト：うらあゆみ

14. 現在、あなたが楽しみ・喜びを感じることを、最大3つまで選択してください。

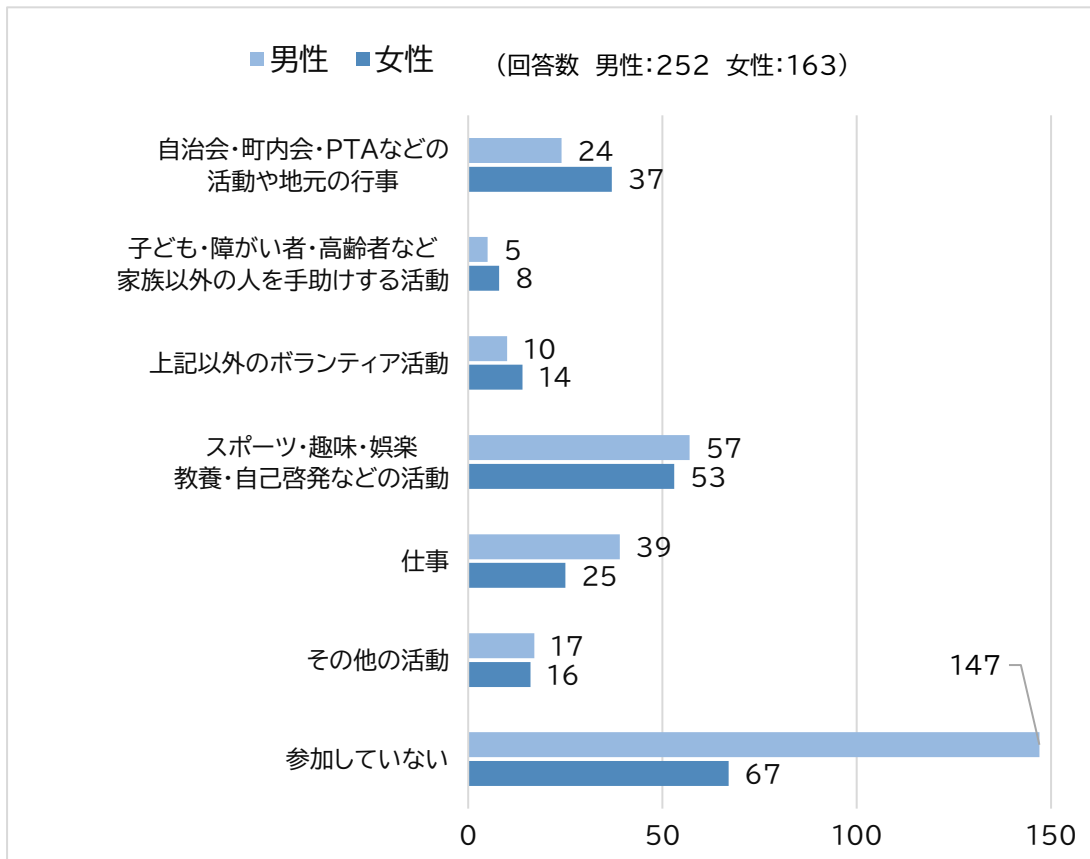


回答が多かったのは、自宅でのテレビ・ラジオ・インターネット(男性は約半数)、旅行、家族や親しい人との交流(女性では最多)です。運動に関することは男性の回答割合が高く、芸術芸能鑑賞や趣味は女性の回答割合が高かったです。

【その他と回答した人の自由記述(抜粋)】

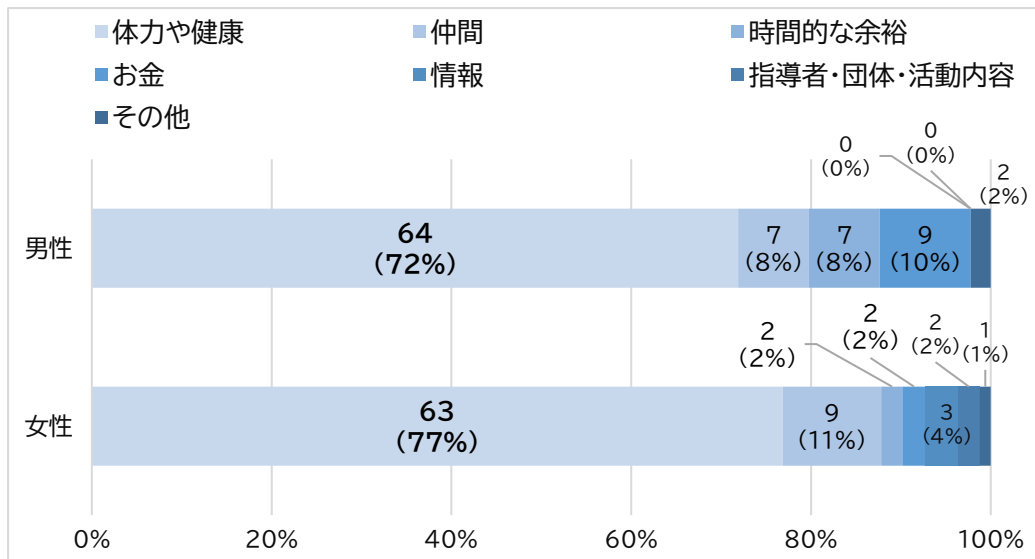
- ・ 競馬
- ・ 飲み会
- ・ バードウォッチング
- ・ 先生についてのカラオケの勉強会
- ・ 音楽、作曲、楽器演奏
- ・ 音楽教室
- ・ ちょっとした物作り
- ・ ボーと過ごす!
- ・ パチンコのスロット
- ・ 好きなCDを聴く
- ・ テレビアニメ録画したものの再生
- ・ シルバー人材センターの仲間と逢うこと
- ・ 歌の会などへの参加
- ・ 静謐な残り時間を大切にしたいと。
- ・ 散策
- ・ ドライブ

15. 過去1年間で、あなたはどのような活動に参加しましたか(複数回答可)。



社会活動への参加については、男女ともに不参加が最も多かったです。一方、参加した活動でみると、男女ともにスポーツ・趣味などの活動が最も多く、自治会などの活動への参加割合は、男性よりも女性が多かったです。

16.【15で何らかの活動を選択した人】活動へ参加するために最も必要なことは何だと思いますか。あなたの考えに一番近いものを1つ選択してください。

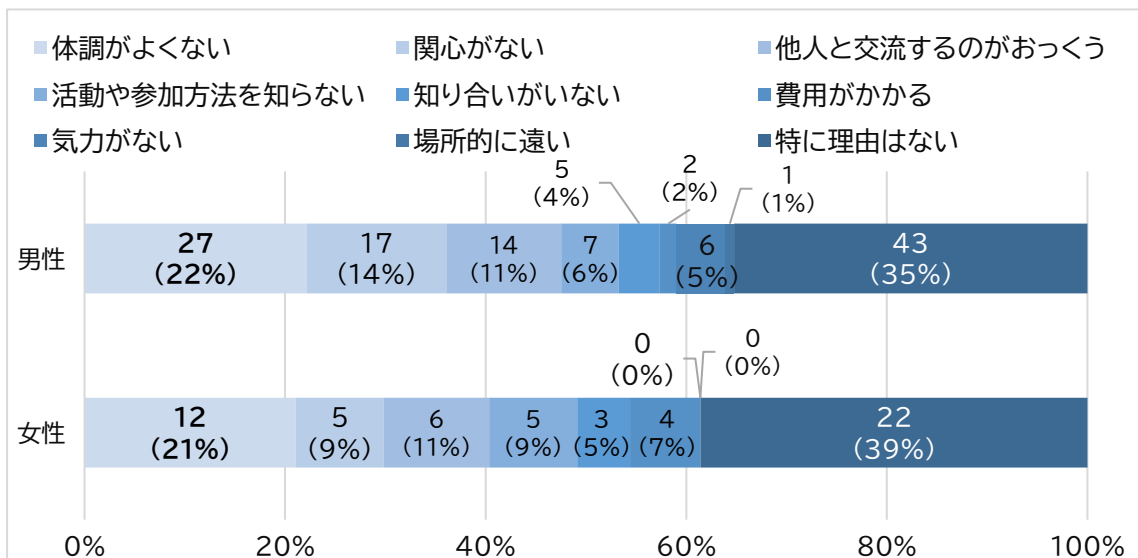


男女ともに、活動への必要なこととしては体力や健康をあげている人が70%以上を超えました。

【その他と回答した人の自由記述（抜粋）】

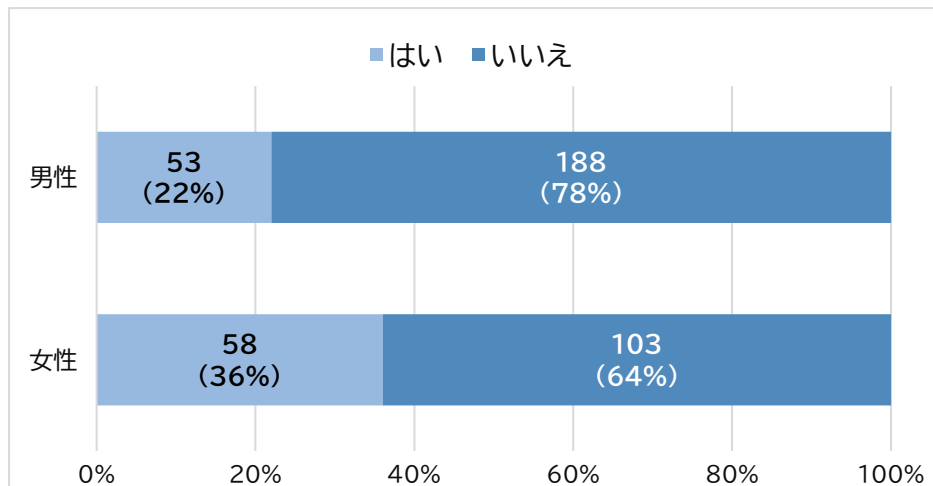
- ・ 自分の哲学、意志、能力
- ・ やる気、元気
- ・ クリニックで看護師としてまだ仕事をしています

17.【15で「参加していない」と回答した人】その主な理由を1つ選択してください。



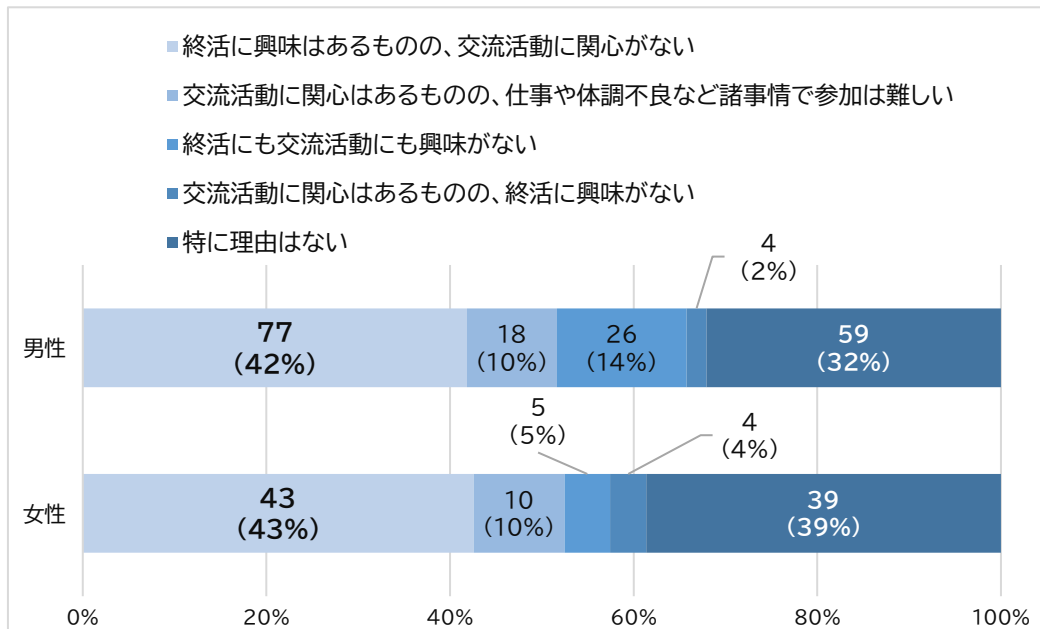
男女ともに、社会活動へ参加しなかった主な理由として最も多かったのは体調がよくない、というものでした。高齢のおひとりさまの社会参加を促すには、体調面でのケアが求められそうです。交流活動への関心が低いと思われる人の割合（関心がない、交流がおっくう、特に理由がない）は約50%でした。

18. 終活をテーマに、参加者同士で語り合うような交流活動があれば、あなたは参加したいですか。



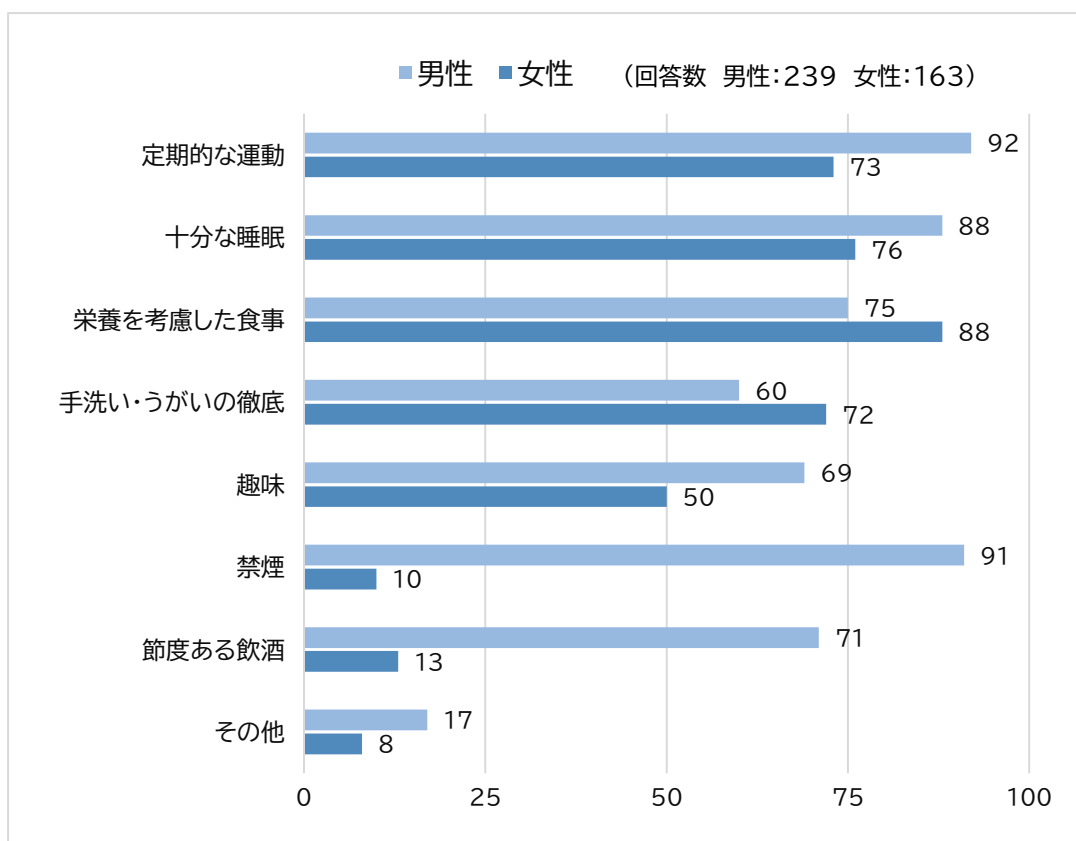
終活をテーマとした交流活動へ参加したいと思っている人は、男性22%、女性36%で、女性の関心割合が高かったです。

19. 【18で「イ、いいえ」と回答した人】 その理由を1つ選択してください。



交流会に参加したくない理由として最も多かった回答は、終活に興味はあるものの、交流活動に関心がないというものでした。終活については、交流活動を希望する人も一定数いる一方で、個人的に取り組みたいという人の割合が高いようです。

20. あなたが健康のために継続している習慣があれば、最大3つ選択してください。



多かった回答としては定期的な運動、十分な睡眠、栄養を考慮した食事の3つでした。男性に限ってしてみると、禁煙、節度ある飲酒という回答も多かったです。一方女性は、元々嗜んでいる人が少ないのかもしれませんが、禁煙、飲酒という回答は少なく、多かった回答としては、上位3つの回答に加え、手洗い・うがいでした。

【その他と回答した人の自由記述】

- ・ ストレス0生活
- ・ 読書、山野草撮影、スポーツ(グラウンドゴルフ)
- ・ 毎日8000歩はウォーキングで気分転換する
- ・ 一人で自由に暮らせる事が良い。
- ・ 今のしあわせは、とても心地良い!
- ・ 主人の世話も終えてやっと、自由になれたかな?
- ・ 仕事をしていれば健康
- ・ 好きな事をしている事!嫌ならしないこと!
- ・ 毎日1000歩以上の散歩
- ・ ラジオ体操
- ・ どくだみ茶、ピワ茶を飲んでいる
- ・ 人間ドック
- ・ 1人でドライブ
- ・ 歯間ブラシ
- ・ 朝夕の犬の散歩
- ・ 無添加食品摂取
- ・ 自転車